

## 認知症施策のアウトカム指標実用化を推進するための調査研究事業 報告書（概要版）

認知症介護研究・研修東京センター；佐藤信人，花田健二，橋本萌子，藤生大我

## 【研究背景】認知症の人やご家族の視点を重視した、認知症施策アウトカム指標

認知症施策をより効果的に推進するために認知症の人やその家族のQOLを反映し、自治体やサービス事業所においても施策や事業の指標となるようなアウトカム指標が必要とされています。2018年度には厚生労働省老人保健事業推進費等補助金老人保健健康増進等事業「認知症施策のアウトカムとしての認知症の人ご本人やご家族の視点を重視した評価指標の確立に関する研究」として「認知症のご本人やご家族の生活安寧指標」を開発しました。

## 【目的】生活安寧指標の実用化検討と手引き作成

本事業では「認知症のご本人やご家族の生活安寧指標」の実用化を目指し、アウトカム指標の実施にあたっての様々な問題点や課題を検討するとともに、効果検証、他指標との関連などについての全国調査を行い、「認知症施策アウトカム指標実施の手引き」を作成しました。

## 【方法：全国調査】自治体と介護サービス事業所

- **調査対象**：無作為抽出による自治体（政令指定都市：区・中核市・町村の合計60か所）と介護サービス事業所（居宅介護支援・訪問看護・訪問介護の合計540か所）。
- **調査方法**：郵送式アンケートで、調査は2段階とし、生活安寧指標を実施した後、手引きに関する調査内容に回答することとした。生活安寧指標の回答者は、自治体は認知症施策担当者、介護サービス事業所は担当者による認知症のご本人・ご家族への聞き取り調査。
- **調査内容**：自治体へのヒアリングとワーキンググループ、研究委員会で検討して決定した。設問内容は「認知症のご本人やご家族の生活安寧指標」の生活状態24項目毎の実現度を高め、認知症の人の生活の安寧を図るための「諸活動例；非公的支援・公的サービスの現状と今後」、当該指標実用の「メリット・デメリット」や「課題」などについての自由記載形式。
- **調査結果の集計・解析方法**：諸活動例の回答結果からの抽出手順として、表現の加筆や修正は基本的には行わず、回答内容を24項目毎に公的サービスと非公的支援の区分に基づき、文単位で意味の類似性などによりグループ化した。次に、各グループ内で意味・概念・機能などの代表性がより高いと考えられるものを一つ抽出した。最後に、調査地域独自の名称を使用した内容、特定の団体名を使用しているもの、監視や管理を促すような印象、活動を強制するような印象を与える表現などは削除または修正した。また、どの項目でも必要と考えられる活動は「認知症ケア読本の見本」として区別して手引きの巻末に記載した。なお、諸活動例の抽出と並行して、24項目・公的サービス・非公的支援ごとにテキストマイニングを実施し、名詞の頻出語と共起語ネットワーク解析結果に基づいて抽出基準・過程と結果の有効性や一貫性を検討した。

## 【結果】全国調査と認知症施策アウトカム指標実施の手引き作成

- **調査結果回収件数（率）**：自治体21件(33%)、介護サービス事業所35件(6%)。
- **認知症のご本人やご家族の生活安寧指標24項目の実現度**：介護サービス事業所による認知症のご本人・ご家族への調査結果より「生活の基盤的側面への関連を示唆する13項目」は「社会参加への関連を示唆する11項目」の実現度よりも有意に高い傾向が示されました。
- **認知症の人の生活の安寧を図るための諸活動例**：自治体と介護サービス事業所の回答を24項目毎に非公的支援と公的サービスに集約し、抽出手順に基づき具体例を抽出しました。また、テキストマイニングの結果から、非公的支援では「家族」「住民」「友人」「近隣」「地域」など身近な「人」に関連して、日常生活関連の活動や機関名の記載が多く、公的サービスでは「認知症」「地域包括支援センター」などに関連して、ツール・事業・制度関連や公的機関の記載が多数でした。この結果から、抽出された諸活動例は非公的支援と公的サービスとの特徴により区別できた可能性が示されました。
- **生活安寧指標の調査方法**：実現度の調査結果と自由記述の意見を検討した結果から、当該指標及び調査手法における介護支援専門員の訪問調査による自記や聞き取りでの認知症の人ご本人やご家族が回答する手法の信頼性や有効性を支持している可能性が示されました。
- **認知症施策アウトカム指標実施の手引き**：アウトカム指標実施にあたってのメリット・デメリット・課題に関する回答結果から「認知症施策アウトカム指標実施の手引き」を検討しました。その結果から、活用者を①自治体、②サービス事業所、③認知症の人ご本人やご家族、④認知症の人ご本人やご家族を地域で支える各種社会資源として、活用者別の活用方法・活用時期・認知症の人の安寧な生活状態を実現していくための要点等について具体的に記載しました。

## 【課題】実用結果からの生活安寧指標と手引き（諸活動例）の検討の継続

ヒアリング、ワーキンググループ、全国調査の集計・解析結果と研究委員会での検討を経て「認知症のご本人やご家族の生活安寧指標」を活用した「認知症施策アウトカム実施の手引き」を確定しました。主な手引き内容は「認知症の人の生活の安寧を図るための諸活動例」を本指標の生活状態24項目毎に非公的支援と公的サービスに区別して掲載しました。ただし、挙げられた諸活動例は、全国調査結果を原則としてそのまま掲載したものであり、必要とされる活動は地域特性によって様々であるため、この諸活動例を一律に推奨するものではないことを手引きに明記しました。今後は、実用結果などの集積や分析を通じて、生活安寧指標と手引き（諸活動例）の検討・見直しを継続し、実用化の充実に努めます。

# 認知症のご本人やご家族の生活安寧指標 24項目

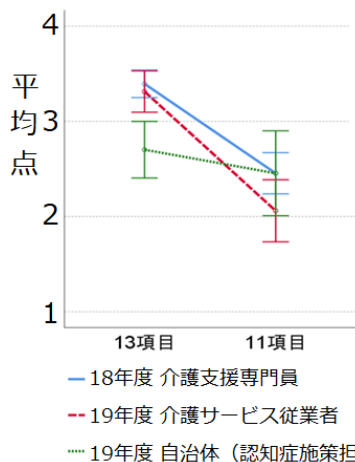
13項目カテゴリ

- ① 家の中に落ち着ける居場所がある
- ② 家族や親戚、親しい人たちとのつながりが保たれている
- ③ 部屋になじみのものが置いてある
- ④ 心地よい部屋で過ごす(例) 色彩、音、装飾、温度、湿度、匂いなど
- ⑤ テレビを見たり新聞を読んだり(聞いたり)する
- ⑥ 夜ぐっすり眠れる
- ⑦ 話を聞いてくれる人がいる
- ⑧ 食事がおいしい
- ⑨ お風呂に入る
- ⑩ 身だしなみを整える
- ⑪ 日中は適切で清潔な服に着替える
- ⑫ 健康的な食事ができる
- ⑬ トイレに行く

11項目カテゴリ

- ⑭ 買い物をする機会がある
- ⑮ 自分で使えるお金をもっている
- ⑯ 趣味やレクリエーションなどのたのしい活動をする(例) 読書、音楽鑑賞、旅行など
- ⑰ いろいろな行事を楽しむ(例) 誕生日、正月、花見、七夕、月見、クリスマスなど
- ⑱ 家の外になじみの場所がある
- ⑲ 家の周りが片付いている
- ⑳ 地域の一員として社会参加する(例) 地域の掃除など
- ㉑ 選挙に行くなどの政治活動を行う
- ㉒ 家族や周りの人の役に立つことをしている
- ㉓ 安全に外出し、帰宅できる
- ㉔ 軽い運動をする(散歩を含む)

## 【生活安寧指標 平均点の比較】～全国調査結果～



- **実現度の全国平均点の特徴**  
13項目カテゴリの方が、11項目カテゴリよりも高い。
- **調査方法の信頼性**  
2018年と2019年の全国調査結果で有意な差はない。

介護支援専門員による、認知症のご本人やご家族への調査方法の信頼性を確認しました。

# 認知症施策アウトカム指標実施の手引き 諸活動例

生活状態項目	① 家の中に落ち着ける居場所がある 【実現度： 点】*
認知症の人の安寧な生活を成り立たせるために必要な諸活動	<p>非公的支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日頃から整理整頓の習慣がある。</li> <li>・ 本人のスペース、部屋がある。</li> <li>・ 昔から使いなれた、家具や道具を整理の上、配置している。</li> <li>・ 家族・親族による家の中の片付けを行う。</li> <li>・ いつも会話に出てくる子供や孫などの家族写真を飾る。</li> <li>・ エンディングノートの活用(落ち着ける環境について記載しておく)。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家族や友人、近隣住民が遊びに訪問する。</li> <li>・ 地域住民による家事支援。</li> <li>・ 認知症サポーターによる訪問。</li> <li>・ ボランティアの見守り体制の強化。</li> <li>・ 介護者の会などへの参加で家族が認知症の理解を深める。</li> <li>・ 介護経験者の体験によるアドバイス。</li> <li>・ 認知症サポーター養成講座の受講。</li> </ul>
	<p>公的サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護経験者によるアドバイス(当事者の会による介護交流会)。</li> <li>・ ダブルケアへの支援。</li> <li>・ 認知症についての講演会、認知症サポーター養成講座、認知症カフェ、家族会などでの普及啓発。</li> </ul>

## 参考資料(用紙のダウンロード URL)

- ① 認知症のご本人やご家族の生活安寧指標(ご本人・ご家族用)
  - ② 認知症のご本人やご家族の生活安寧指標(自治体・サービス事業所・各種社会資源等用)
  - ③ 認知症施策アウトカム指標実施の手引き  
※先着150名に無料送付中。  
詳しくはWebをご覧ください。
- ①～③は下記ページよりダウンロード可能  
【DCnet 認知症介護情報ネットワーク 解説付き評価尺度等】  
<https://www.dcnnet.gr.jp/support/evaluation/index.php>